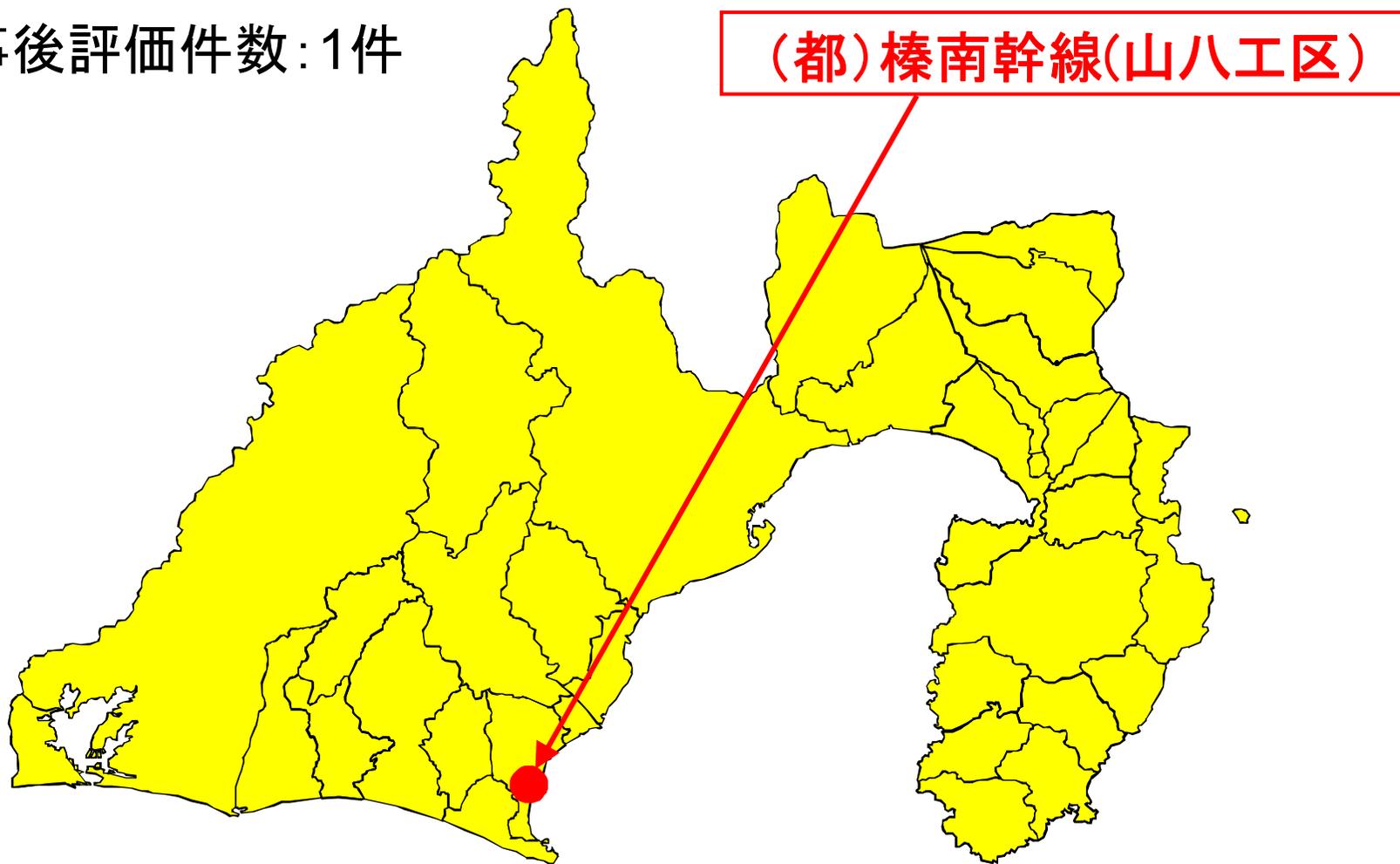


都市局 事後評価実施箇所 位置図

事後評価件数: 1件



平成28年度

公共事業事後評価（街路事業）

都市計画道路 榛南幹線（山八工区）

交通基盤部 都市局 街路整備課

事業概要

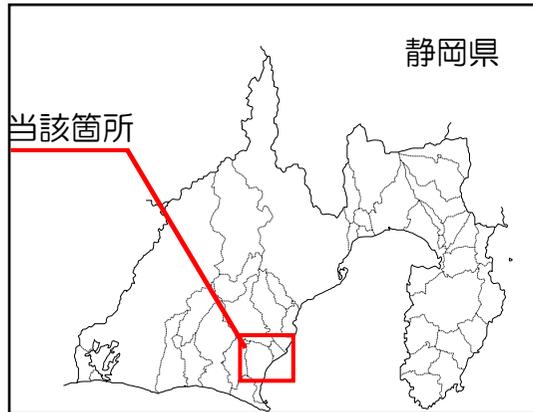
事業期間：平成17年度～平成23年度

(事業完了後5年以内)

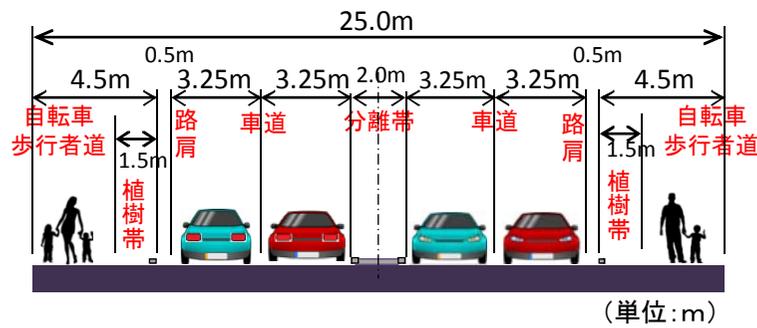
事業費： 11億6,400万円

**事業量： 622m
道路幅員25.0m(4車線)**

位置図



標準横断面図 (榛南幹線)



(都) 榛南幹線(山八工区)
L=622m
平成23年度完成

事業の投資効果

費用便益比: $B/C=11.05$

総便益(B)の現在価値	155.19億円
走行時間短縮便益	122.47億円
走行経費減少便益	24.00億円
交通事故減少便益	8.73億円
総費用(C)の現在価値	14.04億円
建設投資額	14.69億円
維持管理費	0.34億円
用地残存価値	-0.99億円

整備による状況の変化

①整備前（現道）

県道焼津榛原線



慢性的な渋滞が発生

渋滞解消

①整備後（現道）

県道焼津榛原線



(都) 榛南幹線に交通量が転換し減少

交通量転換

②整備後（バイパス）

(都) 榛南幹線(山八工区)



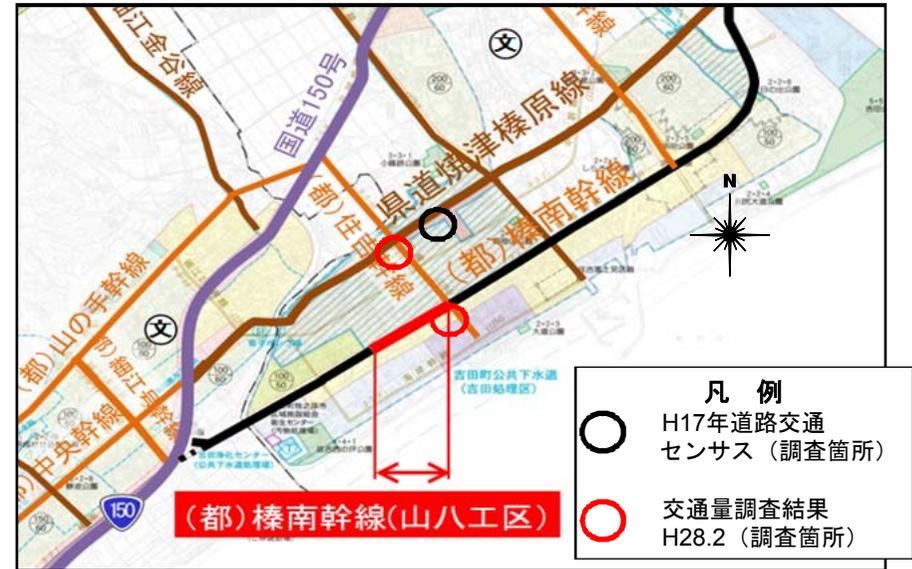
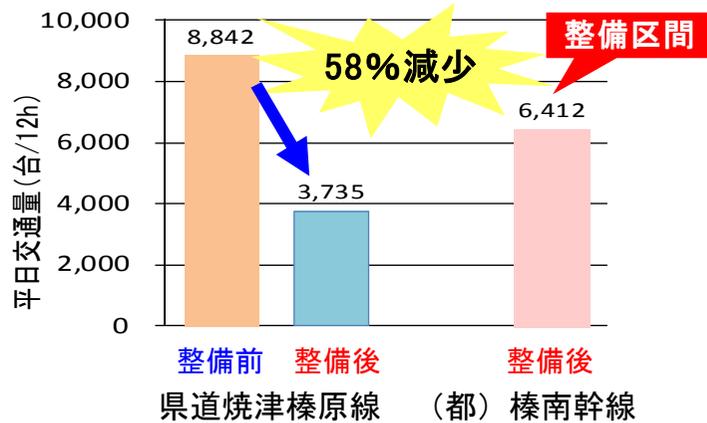
県道焼津榛原幹線から交通量が転換



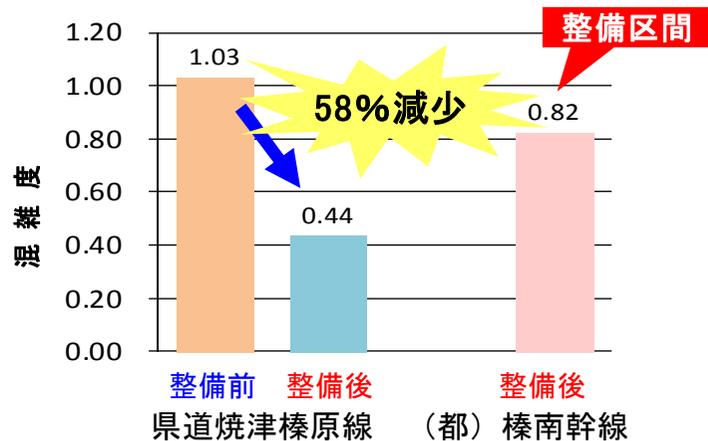
事業の効果①

■ 安全で円滑な交通の確保【※（都）榛南幹線：2車線運用時】

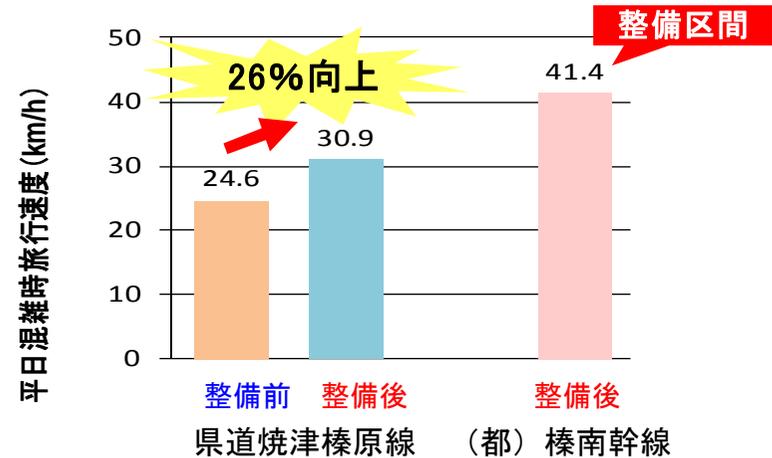
交通量の変化



混雑度の変化



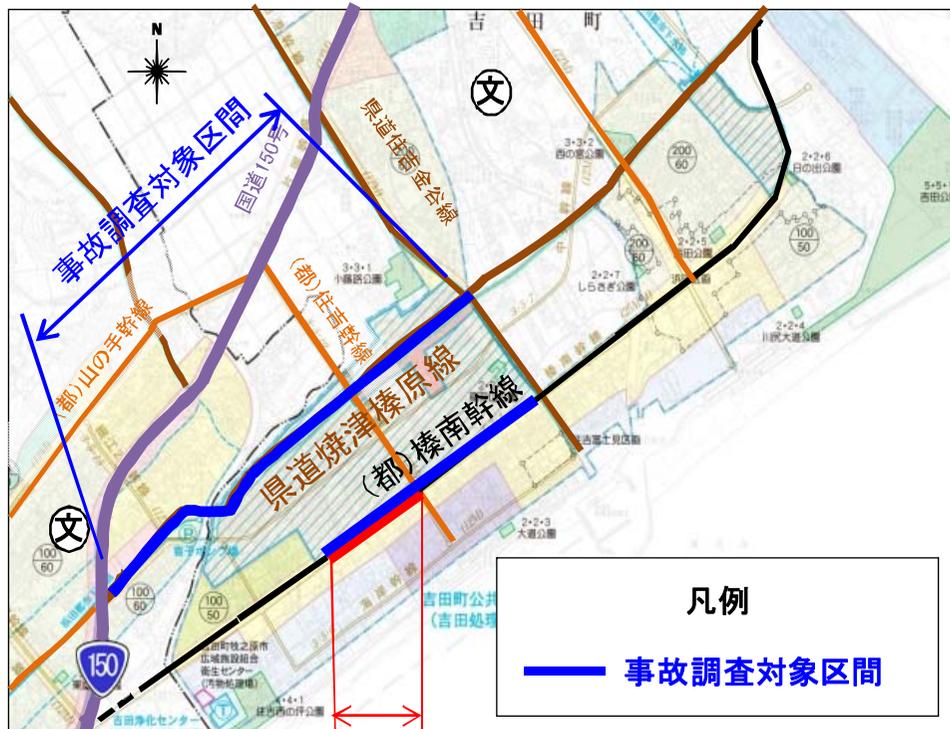
走行速度の変化



事業の効果②

■ 安全で快適な歩行空間の創出

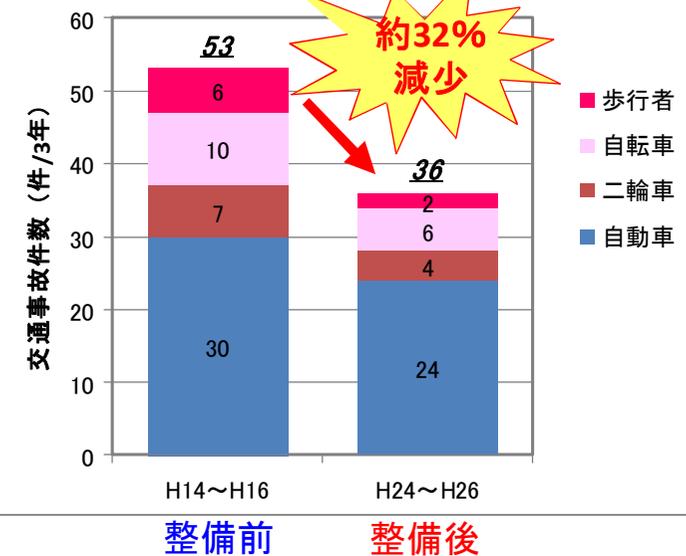
- 県道焼津榛原線及び榛南幹線における交通事故件数（合計）が、約3割減少（歩行者、自転車が絡んだ事故は半減）



(都)榛南幹線
(山八工区)



交通事故件数の変化



【県道焼津榛原線 + (都)榛南幹線】

事業実施による環境の変化

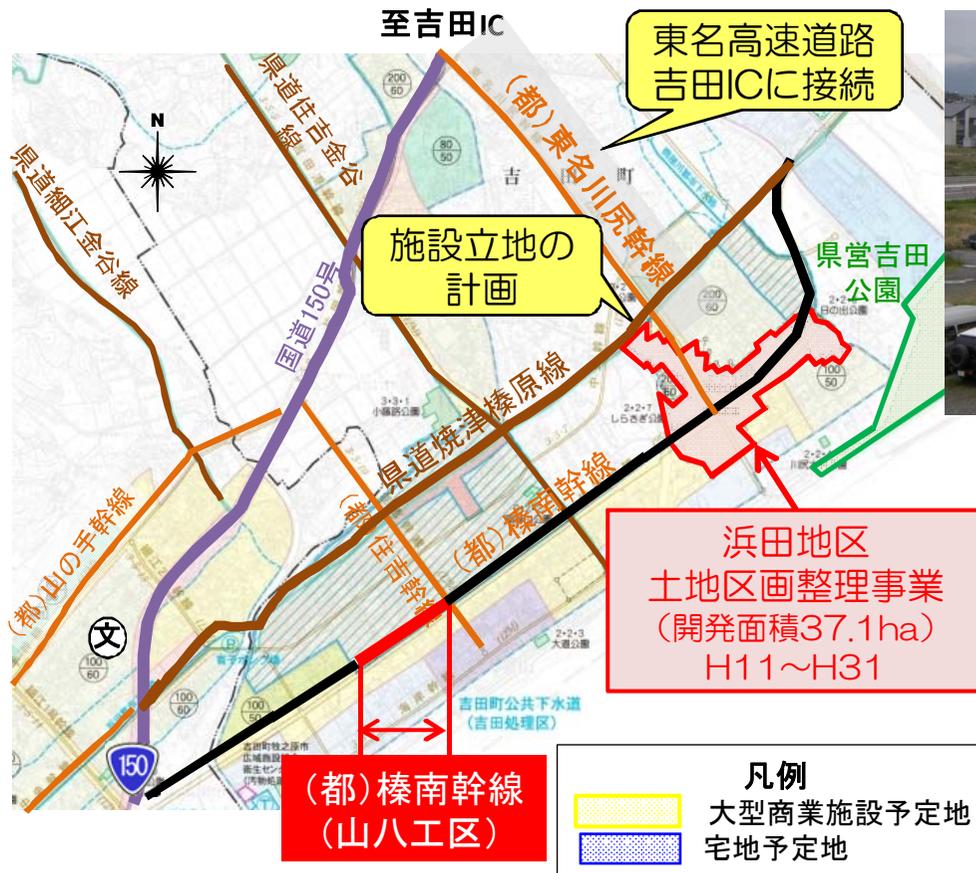
■ 本事業による周辺への大気環境の改善効果

- ①CO₂(二酸化炭素)排出量の削減
削減量402トン／年、削減率0.19%
(211,364トン／年→210,962トン／年)
- ②NO_x(窒素酸化物)排出量の削減
削減量0.33トン／年、削減率0.06%
(564.23トン／年→563.90トン／年)
- ③SPM(浮遊粒子状物質)排出量の削減
削減量0.04トン／年、削減率0.13%
(27.78トン／年→27.74トン／年)

事業を巡る社会経済情勢等の変化①

■ 面整備の状況

- 本路線の東にある浜田地区土地区画整理事業の実施により見込まれる交通需要の増加
- (都)東名川尻幹線がH28.3に開通し、高速ICからアクセス性が向上



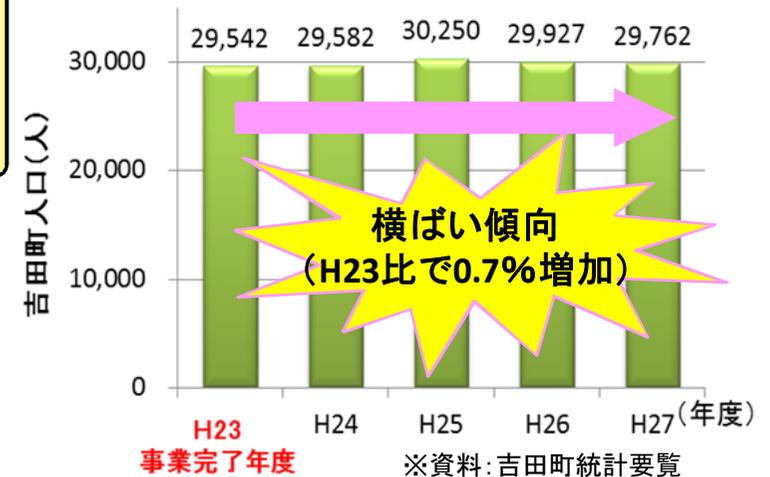
事業を巡る社会経済情勢等の変化②

■ 吉田町の人口及び観光

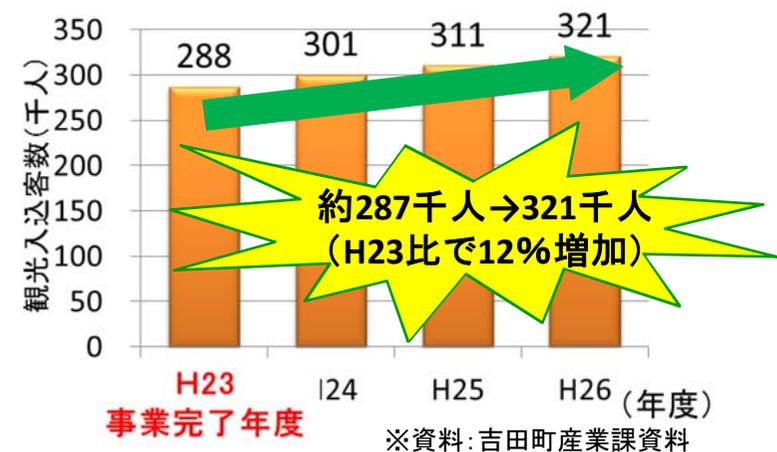
- 全県で人口が減少傾向の中、吉田町の人口は横ばい傾向
- 町内全体の観光入込客数は着実に増加傾向



◎ 吉田町の「人口」の推移



◎ 吉田町の「観光入込客数」の推移



事業を巡る社会経済情勢等の変化③

■ 南海トラフ巨大地震への対応

- 将来、緊急輸送路とする予定であり、当地域の防災性の向上にも寄与
- 南海トラフ巨大地震により最大9mの津波発生が予測されていることから路線上へ津波避難タワーを設置

津波避難タワーA



津波避難タワーB



※資料: 吉田町HPより

(静岡県危機管理部「静岡県第4次地震被害想定」関連資料)

対応方針(案)

- ①円滑な交通の確保
- ②安全で快適な歩行空間の創出
- ③環境改善の効果
- ④防災機能の向上 など



交通需要に対応する東西幹線として機能
事業効果は発現しており、
改善措置の必要はない



街づくりに効果的な街路事業の推進
効率的な推進のため、
住民理解を得られるよう努める

今後の課題・対応

本事業区間は完成したが、
吉田町南部における都市計画道路の整備としては、
まだ未着手の区間が存在する



吉田町南部全体の都市計画道路網の開通により、
沿道の土地利用や利便性の向上など、
更なる効果が期待される



未着手区間の早期着手及び完成に向けて努めていく